



雪崩・地すべり 研究センターたより

季刊・第50号
2009. 9月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事 ・ 1751年高田地震と土砂災害 ・ トピックス
・ 今後の主な予定

1751年高田地震と土砂災害



越後国頸城郡高田領往還破損所絵図（新潟県上越市公文書館準備室 蔵）

この絵図は、「越後国頸城郡高田領往還破損所絵図」というもので、1751年5月21日（旧暦4月26日）午後2時頃発生した宝暦の高田地震（M7.2）による新潟県上越市鳥ヶ首岬付近の土砂災害のようすです。これは、高田藩が幕府に災害の状況を報告するために、海に船を浮かべ描いたものといわれています。絵図からは、海岸沿いで大規模な地すべりや崩壊が数多く発生したことを読み取ることができます。また、絵図としては残されていませんが、名立小泊では集落背後の大規模な地すべりにより住民の約8割に当たる428人が死亡したという記録が残っています。このように、新潟県上越地方でも、過去に大きな地震による土砂災害が発生しています。

平成21年3月18日には、文部科学省地

震調査研究推進本部の地震調査委員会により、当センターが位置する新潟県妙高市とその周辺での活断層の分布が公表されています。

現在、当センターでは、中越地震などで既存の地すべり地形内で発生した大規模な地すべりの調査を行い、地震による地すべりの発生危険度評価手法に関する研究を行っています。中越地震の事例では、土砂災害は断層の下盤側に比べて上盤側（地盤がせり上がる側）で、より多く発生する傾向がみられます。

災害発生に備えて、日頃から正しい防災知識を身に付け、危険な場所、避難場所を確認しておきましょう。また、防災訓練などに参加し、防災行動力を高めておきましょう。

トピックス

■土砂災害防災訓練に参加

新潟県妙高市上堀之内地区・除戸地区において、6月21日(日)に新潟県と妙高市等の主催による土砂災害防災訓練が行われました。



当センターからは、丸山総括主任研究員がアドバイザーとして参加し、その後の講習会では「土砂災害に備えて」と題して、土砂災害の恐ろしさや前兆現象などについて講演を行いました。

■上越東農林事務所来訪

新潟県上越地域振興局上越東農林事務所と上越市等の主催による「山地災害防止研修会」が、6月25日(木)に当センターで行われました。参加者は35名であり、丸山総括主任研究員が「土砂害と雪崩災害の基礎知識と防災上の留意点」について講演を行いました。



■雪崩・地すべり研究推進協議会、妙高地区治水砂防協会合同研究発表会

雪崩・地すべり研究推進協議会と妙高地区治水砂防協会の合同研究発表会が、7月7日(火)に妙高市役所で開催されました。当センターからは、丸山総括主任研究員が「地すべり防止施設の維持管理」について、伊藤研究員が「レーダー降水量を用いた雪崩危険度判定手法」について発表しました。



■新潟県立上越総合技術高校生来訪

上越総合技術高校の生徒4名が、8月18日(火)に授業の一環として当センターを訪れました。当センターでは、石井所長、丸山総括主任研究員、ハスバートル専門研究員が、雪崩と地すべりに関する基礎知識や当センターの研究成果について紹介しました。



■日本地すべり学会研究発表会

新潟市で日本地すべり学会研究発表会が8月25～28日に開催されました。25日の県民講演会では、石井所長が「新潟県の地すべり災害と技術開発の歴史」について講演を行いました。また、以下の



研究発表を行いました。

タイトル	発表者
震源断層と地震により発生した時の分布—新潟県中越沖地震、中越沖地震を事例として—	ハスバートル
地すべり地縁辺部の地形と中越地震により発生した地すべりとの関連性	鈴木聡樹
地すべり地の横ボーリングの閉塞実態に関する調査	丸山清輝

■富山県建築士会講演会

富山県建築士会高岡支部主催の講演会が、9月10日に富山県高岡市で開催されました。当センターからは、ハスバートル専門研究員が、「富山県及びその周辺の活断層と地震活動」について講演を行いました。



今後の主な予定

- 雪崩・地すべり防止技術セミナー(妙高市) 10月26日
 - ・雪崩、地すべりに関する研究成果の発表
- 日本雪氷学会(札幌市) 9月30日～10月3日
 - ・雪崩検知に関する研究と雪崩発生・非発生域に関する研究の各成果の発表
- 日本地下水学会(札幌市) 10月16日
 - ・地下水排除工の閉塞原因に関する研究成果の発表

ニュートンのりんごの木

9月14日現在の、ニュートンのリンゴの木のようすです。リンゴが、赤く色づき大きくなってきました。大きさは7cmほどです。



雪崩・地すべり研究センターに関する記事は、ホームページにも掲載しておりますので、ご覧下さい。

発行：独立行政法人 土木研究所 つくば中央研究所
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター
住所：〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8
TEL:0255-72-4131 FAX:0255-72-9629 URL: http://www.pwri.go.jp
掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。